ENTERTAINMENT

★ 2006年 映画化！

★ 2020年 舞台化！

『夜のピクニック』
恩田　陸／著
新潮社（新潮文庫）　2006年

夜を徹して80キロを歩き通す、高校生活最後の一大イベント「歩行祭」。生徒たちは学校生活の思い出や夢などを打ち明け合いながら一夜を過ごす。そんな中、甲田貴子は三年間わだかまった想いを清算するためにひとつの賭けを胸に秘めていた。しかし、予期せぬ謎の人物、積み重なる疲労。気ばかり焦り、何もできないままゴールは迫る・・・。

舞台は「歩行祭」の一日のみ。ほぼ高校生が歩いているだけの小説なのに、心情が豊かで登場人物が魅力的なので、どんどん引き込まれていき、一緒に歩いている気分にさせてくれます。

吉川英治文学新人賞と本屋大賞をダブル受賞し、映画化・舞台化もされた本作。

当たり前だと思っていた瞬間がとてつもなく尊く、くだらないと思っていた今日も振り返れば特別な一日だったと思うかもしれない。今は今、「今」を未来のためだけに使うべきではないと気付かせてくれる作品です。

「ユースフルエイジ(Youthful Age)」はYA世代に送る、本・漫画・映画・音楽などのおすすめ情報を掲載した渋谷区立図書館が発行する定期刊行物です。

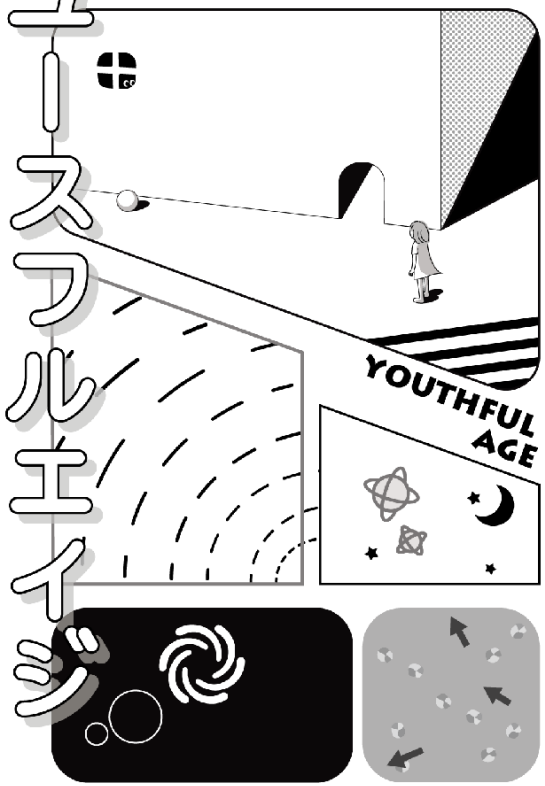
YA(ワイエー)とは…
Young Adult(ヤングアダルト)の略で、おおむね12歳から18歳までの人たちのことをさします。

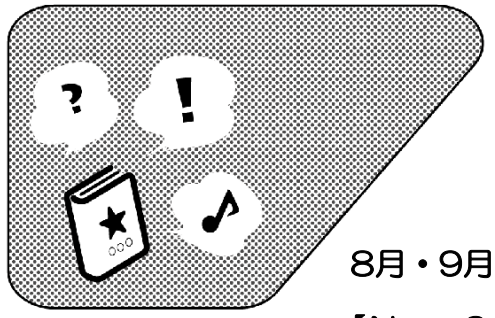
ユースフルエイジ
2024年8月・9月号【No.21】

発行／編集　渋谷区立図書館
　　株式会社図書館流通センター
発　行　日　2024年8月

渋谷区立中央図書館
電話　3403−2591
住所　渋谷区神宮前1−4−1

ユースフルエイジ





8月・9月号
【No. 21】

SHIBUYA CITY LIBRARIES

Pick Up!

Recommended books

フェスティバル！！！！！

New!

『東京盆踊り天国』
佐藤　智彦 ／著
山と溪谷社　2022年

日本全国で開催されている盆踊り。露店をのぞいたり、食べ物を食べたりと楽しみが多いですが、盆踊りを踊ったことはありますか？ この本は、盆踊りに魅せられ自ら盆バサダーと名乗る著者が、初心者でも参加しやすい東京23区の盆踊り会場を紹介しています。それぞれの地域の特色が曲や踊りに現れていて、幅広い世代が楽しめ、各会場の臨場感や一体感が文章越しでも伝わってきます。昔ながらの東京音頭、昭和歌謡、ご当地ナンバーだけでなく、サンバ調の曲やアニメソング、J－POPを使用しているところも…。振付も簡単で覚えやすい踊りもあるので、今年は思い切って踊りの輪に参加してみませんか。

『夏のくじら』
大崎　梢 ／著
文藝春秋　2008年

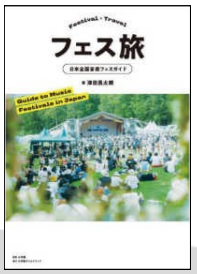
中学生の頃に初めて参加したよさこい祭り。東京から高知の大学に進学した守山篤史は、高知に住む従兄弟に強引に誘われて、4年ぶりに参加することに。あのとき果たせなかった約束を果たすことができるのか…。熱い思いが駆け巡ります。

『世界の祝祭』
地球の歩き方編集室／編集
地球の歩き方
学研プラス（発売）　2021年

祭りの起源や様子、祭りへのアクセス方法や旅のヒントなどを、色鮮やかな写真とともに月ごとに紹介しています。祭りに欠かせない踊りや料理も。ページをめくるたびにウキウキしてくるような、祭りに行った気分になれる一冊です。

『季節の行事といまどきのしつらい手帖』
いとよし／著
エクスナレッジ　2024年

ひな祭りやお盆、十五夜など、日本には様々な伝統行事や季節の節目があります。普段なんとなくおこなっている事でも、その行事や風習の背景を知ることで、より日々の暮らしが楽しくなるかもしれません。季節の行事やそのしつらいを通して、日本の四季をもっと味わってみませんか。



『フェス旅』
津田　昌太朗 ／著
小学館クリエイティブ
小学館（発売）　2024年

音楽フェスティバルに行ってみたいけどどうやって行けばいいの？ 準備は何が必要？ 自分が行って楽しめる？ と不安なことがたくさんという方にこの一冊を。日本全国で開催されている音楽フェスが紹介されています。充実の内容なのでフェス好きも楽しめます。

COLUMN

フェスと祭り

フェスティバル。日本語では祭りを意味しますが、夏フェスというと音楽イベントを思い浮かべる人も多いのではないでしょうか。

祭りの語源は諸説ありますが、神様をたてまつるという考えがあります。音楽や踊り、お神輿などで神様をおもてなしするのです。

夏から秋にかけて、日本全国でたくさんの祭りが開催されます。また、世界中でも大小さまざまな祭りが行われています。各地の祭りを通して、様々な文化に触れてみてはいかがでしょうか。